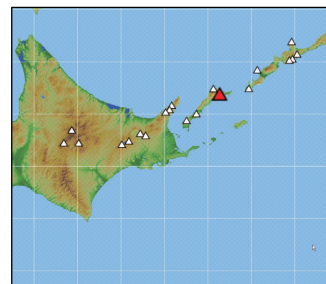


108. ^{ちゃちゃだけ} 爺爺岳 Chachadake (国後島)

北緯 44° 21′ 12″ 東経 146° 15′ 08″ 標高 1,822m (独自に計測)



爺爺岳 外輪山と中央火口丘 南東側海上から 1992 年 10 月 石塚吉浩撮影

概要

安山岩、玄武岩 (SiO₂ 量は 50.8～59.4 wt.%) の成層火山。以前は噴気も出ていなかったが、1973 年以降活動をはじめた。別名 Tiatia (チャチャ)。

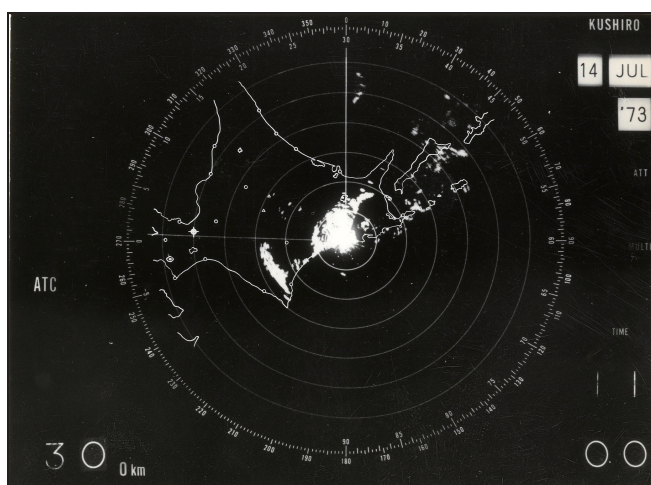
写真



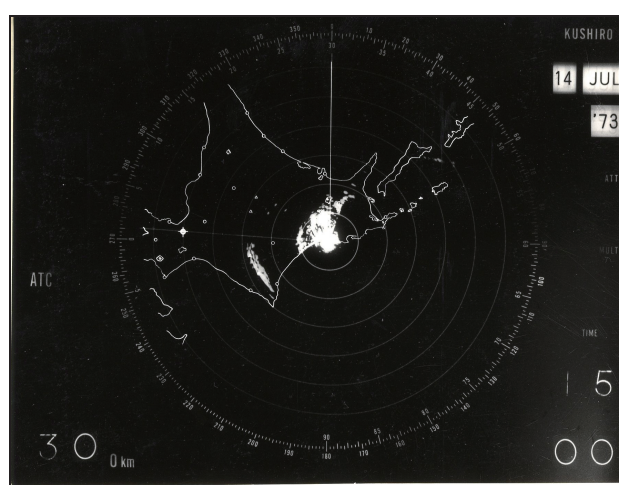
爺爺岳中央火口丘 1999年8月1日 岡崎紀俊撮影



1973年7月14日の噴火 南西側の根室測候所(爺爺岳から約130km)から撮影



1973年7月14日11:00 釧路レーダー画像



1973年7月14日15:00 釧路レーダー画像

地勢図

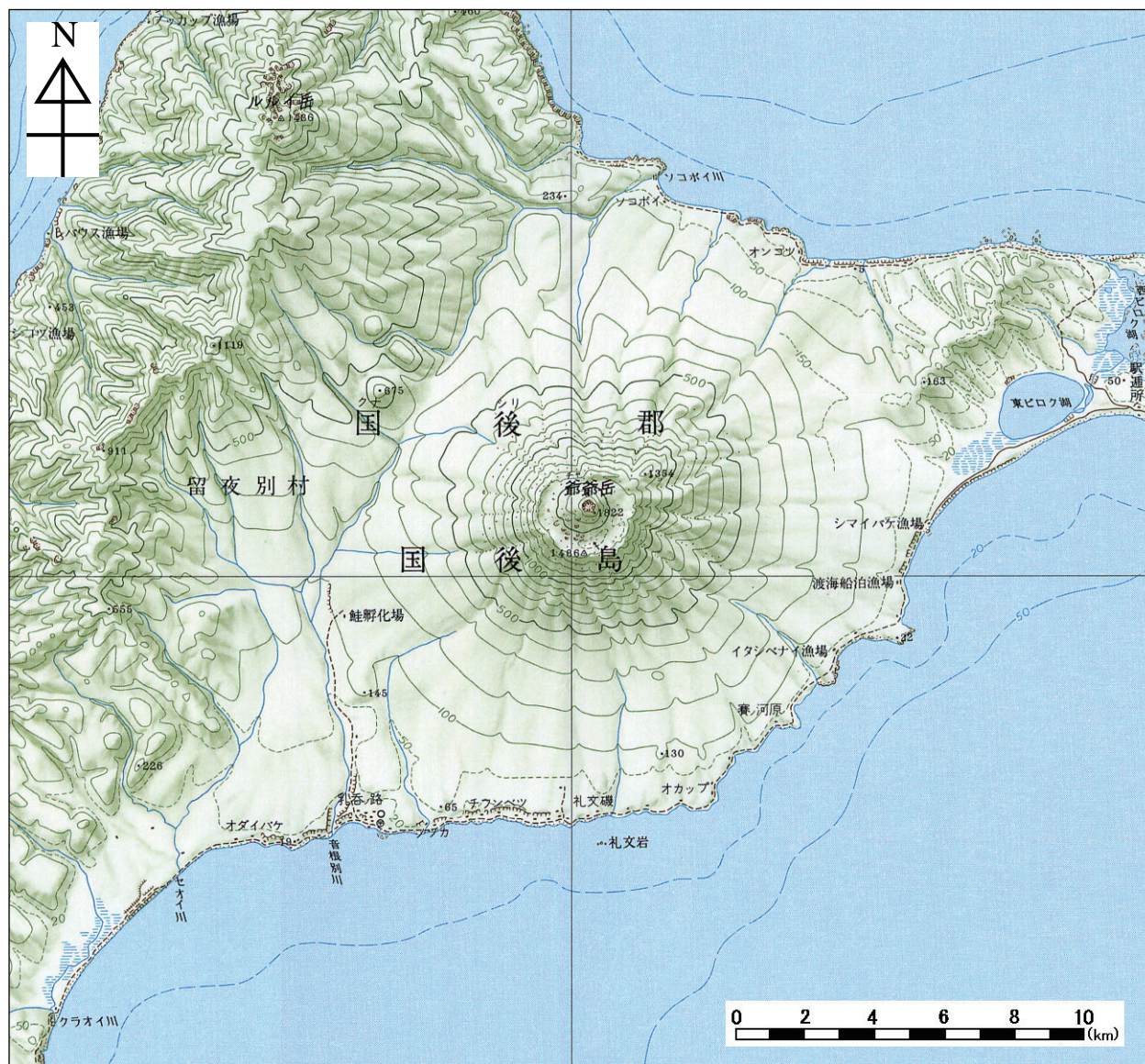


図 108-1 爺爺岳の地勢
国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図 (安渡移矢岬)

噴火活動史

・過去 1 万年間の噴火活動

山頂カルデラ底西側には、中央火口丘を噴出源とする少なくとも 13 枚以上の極めて新鮮な溶岩流が分布している。これらの化学組成等の分析および年代測定値から、中央火口丘は 1000 年以上前から現在まで比較的短い時間間隔(10～100 年のオーダー)で噴火を繰り返してきたと考えられる (Nakagawa, et. al., 2002)。

噴火活動史

・過去 1 万年間の噴火活動

山頂カルデラ底西側には、中央火口丘を噴出源とする少なくとも 13 枚以上の極めて新鮮な溶岩流が分布している。これらの化学組成等の分析および年代測定値から、中央火口丘は 1000 年以上前から現在まで比較的短い時間間隔(10～100 年のオーダー)で噴火を繰り返してきたと考えられる(Nakagawa, et. al., 2002)。

・有史以降の火山活動(▲は噴火年を示す)

年代	現象	活動経過・被害状況等
▲1812(文化 9)年	噴火	溶岩流出。
▲1973(昭和 48)年	噴火	マグマ水蒸気噴火(ストロンボリ式噴火、サブプリニー式)：活発な地震活動の後、7 月 14～28 日北北西及び南南東山腹で噴火。22 日 15 時 50 分から 17 時過ぎまでの降灰が最も激しく、根室測候所の測定では 1 時間あたり 23kg/m ² に達した。
▲1974(昭和 49)年	噴火	1 月 21 日白煙が数百 m 上がっているのを根室測候所から観測。
	水蒸気噴火	2 月 9～10 日根室市花咲付近に降灰。
▲1975(昭和 50)年	水蒸気噴火	6 月 14 日根室測候所から高さ約 3000m の噴煙を観測。
▲1978(昭和 53)年	水蒸気噴火	7 月 20 日爆発音が羅臼及び標津(しべつ)で聞えた。羅臼町から爺爺岳上空に灰色の噴煙を望見した。
▲1981(昭和 56)年	水蒸気噴火	6 月 24～25 日爺爺岳上空に橙色と青白い光を、25 日には黒い噴煙を根室測候所から観測。

主な噴火活動

・1973 年噴火の推移

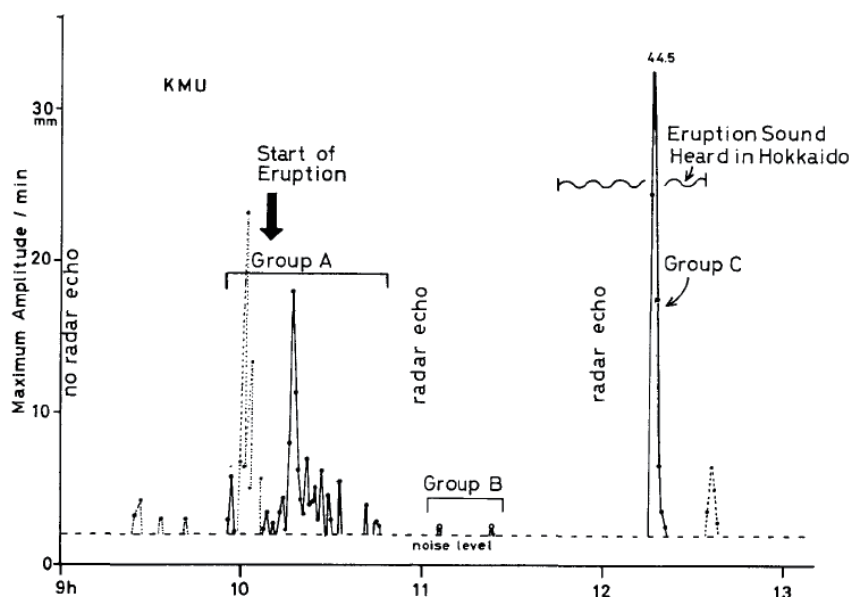


図 108-2 1973 年噴火の推移(笠原・他, 1986)

- ・ KMU(浦河地震観測所)における地震記録の変化(1 分毎の最大振幅)
- ・ 実線と破線は、それぞれ爺爺岳の近傍と、そこ以外で発生した地震を示す

近年の火山活動

ルルイ岳 地震活動を参照。

防災に関する情報

- ・ 主な火山情報の発表状況
- ・ 臨時火山情報第 1 号（昭和 50 年 6 月 14 日 04 時 50 分）

関連する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
気象庁地震火山部火山課	東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
札幌火山監視・情報センター	(札幌管区気象台)札幌市中央区北 2 条西 18 丁目 2	011-611-2421
釧路地方気象台	釧路市幸町 10 丁目 3 番地 釧路地方合同庁舎 9 階	0154-31-5145

引用文献

- 笠原稔・他（1986）1973 年チャチャヌプリ大噴火の初期に発生した群発地震，北海道大学地球物理学研究報告，**47**，33-40.
- Nakagawa, M., et al. (2002) Tyatya Volcano, southwestern Kuril arc: Recent eruptive activity inferred from widespread tephra, Island Arc, **11**, 4, 236-254.
- 小坂丈予・野上健治（2001）国後島爺爺岳 1999 年日露共同学術調査と 1973 年噴火活動の再検討，火山，**46**，71-77.